

金沢大学インターン生による 廃材を利用した「アップサイクルアート」制作

大同工業株式会社（本社：石川県加賀市）は、金沢大学のインターン生 6 名とともに廃材を利用したアップサイクルアートを制作しました。

■アップサイクルアート制作品（一部）



当社は、長期ビジョン「[DID SMILE VISION 2035](#)」においてサステナブル事業の創造を掲げています。企業活動から生まれる廃材の活用は ESG の観点からも重要な課題であり、まずはそれに目を向けることが、持続可能な企業活動の第一歩となります。技術や製品、そして社会への価値を生み出すのは“人”です。同時に、廃棄物を生み出すのも“人”です。

今回は、生産活動や試作過程で余剰となってしまった廃材（アルミリム、樹脂部品、各種チェーン（バイク・自転車・自動車エンジン・プラスチック等）を新たな価値として再生しました。本インターンを通じて、廃棄物や環境問題について考える機会となりました。

■アップサイクルアートとは

不要になったものや廃材を創造的に再利用し、新たな価値を持つ芸術作品へと生まれ変わらせるアートです。単なるリサイクルとは異なり、元の素材の特徴を活かしながらより価値のある作品へと昇華させる点が特徴です。

■インターンについて

金沢大学融合学域による先導 STEAM 人材育成プログラム（[KU-STEAM](#)）の一環として開講されている「実践インターンシップ」において、当社は昨年度より協働しています。本年度は 2～3 年生の 6 名が参加し、文系 4 名・理系 1 名・融合学域 1 名と、多様なバックグラウンドを持つ学生たちが集ま

りました。それぞれの視点を活かしながら、創造的な作品づくりに挑戦しました。制作の過程では、当社の技術者も学生たちと積極的に意見を交わし、互いに学び合いながら取り組みを進めました。



■プログラム（5日間）

2月17日：会社紹介/工場見学、アップサイクルアートについて学ぶ

2月18日：デザインブリーフィングを実施、制作の方向性を検討

2月26日・3月12日：1人1点のアート作品を制作

3月13日：制作発表会にて作品を発表



当社はこれからも、人と環境に寄り添う取り組みを通じて、持続可能な社会づくりに努めてまいります。

本件に関するお問い合わせ先

大同工業株式会社 広報チーム

担当：前田

Email : k.maeda@did-daido.co.jp

TEL : 090-6814-3513